


ふりがな 氏名	きしもと たつや <b>岸本 達也</b>	都道府県 <b>兵庫県</b>	
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPO法人いまじん 講師兼事務局員</li> <li>・ 神戸大学大学院人文学研究科 社会動態専攻修士</li> </ul>		
私のESD活動	<b>不登校の生徒への復学支援や居場所づくり、および生活困窮世帯の生徒に対する学習支援などのサポート</b>		

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

私は、父が 2013 年に設立した“NPO 法人いまじん”が取り組んできた、不登校生徒への支援や生活困窮世帯への学習支援の趣旨に賛同し、そのサポートに従事している。私の両親が学習塾を経営していることもあり、その中で不登校になってしまった中学生や高校生の学びの場、居場所づくりとして NPO 法人を立ち上げたのが活動の契機だった。現在は 2014 年から姫路市学習支援事業の委託を受け、生活困窮世帯の中学生の学習支援を行い、私も事業には講師として関わってきた。

学習支援事業は、塾に通うことが経済的に難しい生徒の学力向上を目指し、一人一人の進路指導を通じてキャリア設計をサポートすることで貧困の連鎖を断ち切り、社会への参加を促すことを目標にし、2014、2015 年と卒業生を送り出してきた。具体的な活動では、学校外の学びの場として生徒の希望科目の学習や学校課題のサポートなどを行い、学習のみならず講師と生徒同士の交流会（お楽しみ会）や姫路駅周辺の清掃活動などのボランティア活動も積極的に開催してきた。

また、不登校生徒への支援は、通塾を通して基本的な学習内容の理解と、学校に行けないことへの生徒の自己肯定感低下を防ぐ取り組みを行っており、学校復帰を果たした生徒もいる。さらに、通信制高校との提携により学校外の学びの場を確保することで高校卒業資格を得られるように取り組んできた。また、課外活動として畑での農作業体験やバーベキューなどを行うことで、引きこもりがちな生徒に外で活動する喜びを得られるよう機会を設けている。

以上の活動を補助し、生徒たちと交流を行ってきた。これらの活動の社会的な認知度をより高め、持続可能な社会を形成する一助になればと思っている。

○「NPO 法人いまじんのブログ」 <http://npo-imagine.blog.eonet.jp>

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？またESD全体（地域や日本国内、国際）の発展にどのように貢献したいと思いますか？

私は現在取り組んでいる不登校支援や学習支援の活動を通して、経済的に困難を有する生徒や引きこもりから社会参加の機会を失ってしまった生徒たちと社会との接点でありたいと考えている。この活動を深めていくためには不登校に悩む方たちへの NPO 活動に対する認知度を上げるための取り組みや、活動に賛同して協力してくれるボランティアや賛助会員を募集するなど様々な方法が考えられる。実際、いまじんの活動は神戸新聞の取材を受け、作成したパンフレットの申し込みが日に数十件に及ぶこともあった。新聞や雑誌などマスメディアによる認知活動も必要であるが、SNS やブログ、ホームページの開設と言った発信も積極的に行う必要がある。情報発信の効果的な方法や活用についても参加者の方々と話すことが出来ればと感じる。

ESD 全体の発展については、神戸大学で開講されているような ESD 基礎などの講義や認知のためのワークショップを設けるといった手段が考えられるが、まずは NPO や社会福祉法人と教員・研究者との連携が必要であろう。連携を図ることで個人の活動にとどまらない地域や学校の活動として不登校支援や学習支援への理解を広げ、地域・学校・NPO が協働して問題解決に当たるような体制を作ることで互いの信頼関係を構築し、地域や日本の発展へとつながるような取り組みを行っていききたい。